

認知症作業療法 活動報告（概要）

香川県作業療法士会では市町からの依頼を受け、健康ステーション健康長寿講座や認知症予防講座に県士会員を派遣している。健康ステーション健康長寿講座は、高齢者にかかわる総合的な健康をテーマに行われているが、認知症に関するテーマは非常に関心が高く、作業療法士による講座は毎回好評を得ている。人材育成としては、香川県長寿対策課とともに、2016年から認知症初期集中支援員養成事業を実施している。また、香川県からの委託事業として、3団体協力のもと、認知症予防キャラバン事業として、県民に対する普及と啓発、予防に取り組んでいる。

認知症初期集中支援員養成事業

県からの補助を受け、今年度も認知症初期集中支援員養成研修会を実施しました。基礎研修は47名の参加がありました。昨年度も含め基礎研修受講者を対象とした実践研修も開催し、54名の参加があり修了証を発行しました。修了者研修は12月に開催予定です。初期集中支援に限らず地域への実践につなげられるよう、今後も講師の助言を受けて進めていく予定です。



健康ステーション健康長寿講座

市からの依頼で、高松市瓦町健康ステーションにおいて、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門職が講師を行い、健康・介護予防に関する講座を開講しております。講座後のアンケートでは、「作業療法士のことがよくわかりました」、「認知症の理解がより深くできた」などの声を頂いております。



認知症予防キャラバン事業

県からの委託事業として作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会の3士会が協力し県民の皆さまに「認知症予防キャラバン事業」を実施している。リハビリ専門職対象に認知症予防運動指導者養成研修会を開催している。その研修を修了した、リハビリ専門職が地域に派遣され、昨年度は県下で約80件の依頼があった。内容は認知症予防についての講義と認知症予防運動を実際に体験いただき、地域の住民には大変好評である。今年度も約80件前後の派遣を予定している。



今後の展開

- ・香川県、各市町からの委託事業や補助事業の継続に努力するとともに新規事業の提案を積極的におこなっていく
- ・アップデート研修も含めた養成システムの見直しと再構築